

浦和東ロータリークラブ次年度クラブ協議会 次 第

【 日 時 】 2024年 3月 28日(木) 午後6時30分～

【 場 所 】 浦和コミュニティーセンター 第13集会室

司 会 次 年 度 幹 事 佐 伯 陽 子

1、開会の挨拶 次年度副会長 森 嶋 修

2、挨拶 会 長 大谷部 雅典
次年度会長 漆 原 誠

3、クラブ協議会

(1) 国際ロータリーと第2770地区の方針について

(2) クラブ運営と活動方針について

(3) 各常任委員会打合せ

(4) 各常任委員会から活動方針の発表

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1、 <u>クラブ管理運営常任委員会</u> | 大場 守 |
| 2、出席委員会 | 森 道子 |
| 3、親睦活動委員会 | 中村 国雄 |
| 4、会報委員会 | 池田 秀弘 |
| 5、プログラム委員会 | 北 清太郎 |
| 6、ラーニング委員会 | 小柳 嘉文 |
| 7、保健委員会 | 荻原 眞一 |
| 8、 <u>会員増強常任委員会</u> | 早坂 直喜 |
| 9、会員増強・維持委員会 | 高岡 直秀 |
| 10、 <u>公共イメージ常任委員会</u> | 杉本 浩一 |
| 11、公共イメージ向上委員会 | 清宮 大輔 |
| 12、雑誌委員会 | 岡安 美穂 |
| 13、 <u>奉仕プロジェクト常任委員会</u> | 市ヶ谷昌彦 |
| 14、職業奉仕委員会 | 八百 武史 |
| 15、社会奉仕委員会 | 春日 隆 |

16、国際奉仕委員会	長田健太郎
17、国際交流委員会	白井 智子
18、友好クラブ委員会	平田 利雄
19、 <u>青少年常任委員会</u>	<u>松岡 耕一</u>
20、青少年交換委員会	佐藤 徳典
21、青少年育成委員会	松本 英人
22、 <u>ロータリー財団常任委員会</u>	<u>戸崎 洋</u>
23、ロータリー財団委員会	志村 廣幸
24、 <u>米山記念奨学常任委員会</u>	<u>宇津城美奈子</u>
25、米山記念奨学委員会	栗原 啓太
26、創立55周年実行委員会	三上 憲治
27、地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動特別委員会	町田 哲雄
28、戦略計画委員会	齋藤 茂
29、会計	菅原 卓
30、SAA	大山 恭子
31、幹事・副幹事	佐伯 陽子
	飯塚 孝志 三井由美子

(5) 諸報告・今後のスケジュール等について

- ①例会プログラム及び諸行事・地区主要行事（予定者を含む）
- ②事業計画書等理事会上程期限について
- ③事業計画書・例会企画書（A4縦型に変更）・報告書について
- ④会員専用サイトの運営について
- ⑤次年度各委員会開催について（スケジュールと会場）
 - ・委員会名簿（登録用紙）・開催案内文・委員会次第
- ⑥年度計画書作成について
- ⑦地区役員・出向関係について・ロータリーカード作成のお願い
- ⑧2023-24年度から2024-25年への引継会について
 - ・6月20日（木曜日）18時30分～

(6) その他

4、閉会の挨拶

ステファニー A. アーチック 2024-25年度会長テーマのロゴ



The Magic of Rotary

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

RI会長プロフィール

マクマリー (McMurray) ・ロータリークラブ (米国ペンシルバニア州)

RI理事、ロータリー財団管理委員、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、RI会長代理など、RIで数多くの役職を歴任。また、3回の規定審議会で代表議員と特別議員を務める。

ロータリー戦略計画委員会とロータリー財団百周年記念委員会の委員長を務めたほか、選挙審査委員会と運営審査委員会を含むさまざまなロータリー委員会の委員を歴任。



2024-25 年度テーマ講演

ステファニー A. アーチック
国際ロータリー会長エレクト
2024年1月8日



ロータリーファミリーの皆さま、こんにちは。魅力あふれるチーム(the Irresistibles)である2024-25 年度地区ガバナーの皆さまに向けてお話しでき光栄です。私が皆さまを「マイファミリー」(私の家族)と呼ぶとき、単に親切心からそうしているわけではありません。本当に、皆さまを家族同様に思っています。

今日は、ロータリーファミリーのとても大切なメンバーたちに特別なスポットライトを当てることから始めたいと思います。数週間後に私は、素晴らしいヘルスワーカーの女性たちとお会いするためにパキスタンを訪れます。

ポリオをあらゆる場所から根絶することは、パキスタン全土でこの難しい仕事を一つずつこなすことを意味します。それは、困難で、時には危険な仕事です。女性たちは、文字通り、山を登って人里離れた場所で子どもたちに予防接種をしますが、それは困難さの半分にも及びません。彼女たちは、誤情報や先入観と絶えず闘わなければなりません。

パキスタンで、そして世界でポリオが根絶されたら、その大部分はこれらの女性たちのおかげです。

皆さまの多くはこれらのワーカーと決して会うことはないでしょう。でも、皆さまが彼女たちをサポートし、その貢献を大切にしていることを、パキスタンに行ったら彼女たちに知ってもらいたいと思います。現地で彼女たちとシェアできるよう、ぜひ総立ちの拍手を送ってください…。カメラの準備をしますので、ちょっとお待ちください。

大きな拍手に加えて、これらのヘルスワーカーとポリオ根絶活動を支援する最善の方法は、認識向上と資金調達です。クラブまたは地区のポリオプラス・ソサエティへの参加や設立は、今からでも遅くありません。私たちの寄付に対しては、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が引き続き 2 倍額を上乗せしますが、年次募金目標である 5,000 万ドルを私たちが達成することが条件となります。

認識向上を促すには、地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります。

ステファニー A. アーチック:2024-25 年テーマ講演



ありがたいことに、活動をしやすくし、クラブでの体験を魅力的なものとするために、ロータリーの行動計画があります。そこからロータリーのマジック(魔法)が始まります。分断された世界を癒すには、そのマジックが必要です。世界の武力紛争と避難民の数は、驚くほどのスピードで増加しています。ポジティブなインパクトをもたらしたければ、私たちがベストを尽くす必要があります。

これは、組織としての私たち自身について、いくつかの変更を加える必要があるかもしれないことを意味します。変化に対して不安を感じるかもしれませんが、私たちが共に変化すればそれも和らぎます。

そのことを念頭に、クラブがよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるよう、皆さま全員に行動計画の推進者となっていただくようお願いいたします。行動計画には継続の余地が十分にありまます。この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくものです。

行動計画は、地区内のクラブでの体験をよりよくするのに役立つ手段であると考えてください。皆さまには影響力があることを忘れないでください。クラブを設立するのは地区ガバナーです。皆さまは、クラブのリーダーが創造的に考え、既存会員と将来の会員のために魅力的な体験を生み出せるよう後押しできます。これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。行動計画は、クラブの強みと弱み、改善点を特定する上で役立つものです。

地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブ会員が何を望んでいるのかを尋ね、地域社会のニーズとの橋渡しをしましょう。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません。地区ガバナーである皆さまには、向上する力をクラブ会員に与える素晴らしい機会があります。

地区内のクラブ会員と連絡を取り、クラブでの体験はどうか、クラブをよりよくするために何ができるかを尋ねてみてください。また、まだ入会していないけれどロータリー会員になるべき地元のリーダーと話すことを検討してください。その人たちはロータリーのことを知らないのかもしれませんが。あるいは、地元クラブの現在の構造がその人たちに適していない可能性もあります。

心からクラブへの帰属意識を持たずにいる会員がいることにも気づくかもしれません。だからこそ、多様性、公平さ、インクルージョン、そして帰属意識へのコミットメントを広げることが重要です。

奉仕の心と実行力のある人は誰でも、ロータリーに属しています。行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会

員とは異なるタイプの人であっても、DEI を受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注ぐことで、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

しかし、活動はそこで終わるわけではありません。私たちがクラブについて人びとに伝えなければ、クラブが魅力的であると誰も知ることはありません。事実、この困難の時代に前向きなイメージを広げ、積極的平和を広げるには、ストーリーテラー(語り部)が必要とされます。

平和構築は私の最優先事項の一つであり、この国際協議会は地区ガバナーとなるための準備以上のものです。ロータリーの平和構築プログラムとイニシアチブを支援するための行動喚起のときなのです。

そのようなプログラムの一つに、ロータリー平和フェローシップがあります。これは、平和と開発の専門家が紛争の終結と防止に取り組むのを支援するために、20 年以上前に始まったロータリー財団のプログラムです。

私たちは、世界各地の名門大学にあるロータリー平和センターで学ぶためのフェローシップを提供します。これまでに 1,800 人以上の平和フェローがロータリー平和センターを卒業し、よりよい世界を築くために現在 140 カ国以上で活躍しています。

また、オットー&フラン・ウォルター財団(Otto and Fran Walter Foundation)からの 1,550 万ドルのご寄付のおかげで、トルコのイスタンブールにあるバーチェシエヒル大学に設置される平和センターで、もっと多くの地域の平和構築者を引き続き支援できます。

第一期生たちは 2025 年初旬にイスタンブールに到着します。これを記念し、ロータリー会員、ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーターなどの人たちが、2025 年 2 月に予定されているロータリー会長平和会議に集います。

この会議のテーマは、「分断された世界を癒す」です(もうすぐ発表する年次テーマではありません)。この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります。

平和会議についての詳細は、シンガポールで開催される国際大会で伝えられます。現地で皆さまにお会いするのが待ちきれません。

それまでの間、皆さまと地区の会員は、平和の推進のために多くのことを行うことができます。地域社会で平和への希望を広めたいという会員は、地元の公園や遊び場、人びとが集う場所にピースポールを設置できます。私が最も好きな平和構築の手段の一つに、「四つのテスト」があります。すべてのロータリー会員が、単に四つのテストを暗唱するのではなく、それを真に実践していれば、世界はよりよくなるでしょう。

ロータリー会員が平和構築活動を支援する方法はたくさんありますが、今日、覚えておいていただきたいことが一つあります。それは、平和を世界に広げるには、まず自分自身の中に平和を見出さなければならないということです。

思いやりある行動を取ることで、不安や落ち込んだ心を和らげ、既知のどのアプローチよりも社会的なつながりを効果的に促すことができます。私たちは、他者を助けることに喜びを見出しますが、バランスを取るという難題にも直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません。

私のテーマの色としてオレンジとスカイブルーを選んだのは、このためです。オレンジは、秋の主な色として、季節の移り変わり、つまり、一つの段階の終わりりと別の段階の始まりを表しています。実際、オレンジ色は変化を表す主な色です。

一方、青は、知識と知性、つまり信頼性と忠誠を連想させます。青は、オープンなコミュニケーションへの意欲を与えます。これらの色の組み合わせは、自分自身を変え、世界を変えながら共に前進したいという熱い思いを表しています。

ということで、前置きが長すぎました。2024-25年度のテーマを聞く準備はできていますか？

では、テーマをお教えしますが、その前にある逸話を簡単にご紹介します。



数年前、私はドミニカ共和国で浄水器の設置を手伝っていました。浄水器の片方から汚い水が入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。その水の流れを最初に止めた時のことを、私は決して忘れません。少年の一人が私の袖をつかんで、「もう一度魔法を見せて」と言ったのです。

もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、受益者の方々と協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです。

このため、私たちの年度のテーマは、「ロータリーのマジック」です。

誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけで会員を増やしたり、ポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。

それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです。

皆さまの地域のクラブを突き動かすものが何であれ、「ロータリーのマジック」がそれを促進します。ロータリーファミリーに新会員を加えることで、「ロータリーのマジック」を広げることができます。女性と女兒の力を解き放つことで、「ロータリーのマジック」を解き放つことができます。

す。世界に変化をもたらすための資金を募ることで、「ロータリーのマジック」を前進させることができます。

ロータリー会長、そして地区ガバナーとしての私たちの1年が終わるとき、このマジックが続いていくようにする準備ができている人が大勢いるかどうかは、私たち次第です。

私はロータリーファミリーを愛しています。この会場でその愛を感じることができます。だからこそ、皆さまには地区のすべてのクラブを魅力的にする力があると知っています。

この国際協議会は永遠に続くわけではありませんから、どんなに小さな瞬間も最大限に活用してください。束の間のつながりが生涯の友情につながるかもしれません。学んだシンプルなことが、皆さまのロータリー人生を変えるかもしれません。そのような機会を見逃さないでください。

家に帰ったら、「ロータリーのマジック」を使って世界を変えていきましょう。

2024-25 年度

国際ロータリー年度テーマ&地区活動方針

THE MAGIC OF ROTARY

ザ・マジック・オブ・ロータリー

2024-25 年度

地区運営方針

未来を見据えて変化しよう

— 多様性を力に —



国際ロータリー第 2770 地区 ガバナー

岡村 睦美 (川口RC)

国際ロータリーが目指すもの

会員増強維持

ポリオ根絶

平和構築の推進

4つのテスト、中核的価値観、DEI+Bを推進し、ビジョン声明と行動計画の再強化を図る

会員増強維持

地区は新クラブ4つの設立と100名の増強

- ・クラブ会長は会員増強目標数を掲げて実現する
(女性会員、若い世代の会員)
- ・RIの方針を受けて、ガバナー直下にローターアクト特別推進委員会を設置し、青少年部門から独立させて、ローターアクトの増強に力を入れる
- ・ローターアクトクラブ ・Eクラブ
- ・法人内クラブ ・パスポートクラブ

ポリオ根絶

次年度地区方針

- ・ポリオ・プラス・ソサエティ(P.P.S.)の設立…100名
- ・ポール・ハリス・ソサエティ(P.H.S.)の設立…100名
- ・上記の認証式を年度内に行う。

平和構築の推進

平和フェローの講演活動

国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕の中で、平和構築に関する奉仕事業に重点を置く。

各クラブにおいて平和構築に関する事業や卓話を推進する。

4つのテスト、中核的価値観、DEI+Bを推進し、ビジョン声明と行動計画の再強化を図る

- ・ 各クラブのビジョン声明、戦略計画に基づく行動計画を必ず作る。例会場に掲示する。
- ・ 職業奉仕の中で「4つのテスト」「中核的価値観」「DEI+B」の理念の認識を再度各クラブに認知できるように卓話や事業等を推進する。

国際ロータリーは4つのテスト中核的価値観は変えない

4つのテスト

言動はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか？
- 2 皆に公平か？
- 3 好意と友情を深めるか？
- 4 みんなのためになるかどうか？

中核的価値観

- ・ 奉仕(Service)
- ・ 親睦(Fellowship)
- ・ 多様性(Diversity)
- ・ 高潔性(Integrity)
- ・ リーダーシップ(Leadership)

DEI + Bの推進

Diversity	多様性	ダイバーシティ
Equity	エクイティ	公平性
Inclusion	インクルーシブ	包括性
Belonging	ビロンギング	帰属意識

2024-25年度の共同目標

ロータリーのビジョン声明

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」



13

優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調し、ポリオのない世界のための計画を立てる。
2. ロータリー財団への寄付全般を増やし、2025年までに20億2,500万米ドルの恒久基金を築く。
3. クラブ、地区、国際レベルで、地域社会の調査およびプロジェクトとプログラムの測定を奨励する。

地区の優先事項

- P.P.S.、P.H.S.の設立と恒久基金、冠名基金、アーチクランフソサエティの加盟者を募る
- 年次寄付0クラブを無くす
- 全クラブ年次寄付目標額達成
- 国際奉仕、社会奉仕の充実
- ロータリーの公共イメージを高くするための活動を推進する

14

優先事項2「参加者の基盤を広げる」の目標

1. クラブとロータリーファミリーの多様性、公平さ、インクルージョンを育むための活動を推進する。
2. 既存の関係を強化し、ロータリーの行動計画に沿った新たなパートナーシップを築く。
3. 革新的なクラブと新しい参加経路を確立し、発展させる。
4. 地元と海外の地域社会におけるロータリーと会員のインパクトに対する認識と理解を高める。

地区の優先事項

- **ロータリー以外の団体と共同しての奉仕事業を考える**
- ローターアクトクラブの増強、活動の推進
- Eクラブ、パスポートクラブ、法人クラブの設立
- すべての部門におけるDEI+Bの推進
- ハラスメントの防止

15

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」の目標

1. 会員のニーズに応え、会員維持率を高めるためにクラブを支える会員参加のためのツールを充実させる。
2. 参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力とつながりを強化する。
3. 職業上のつながりを育み、リーダーシップスキルを養うためにロータリーを通じて提供される機会を紹介する。

地区の優先事項

- 女性会員、若い会員の増強
- 世代に沿った奉仕の在り方を考える
- DEI+B及び4つのテスト、中核的価値観と職業奉仕の関連を考える
- NPO、地域の他の奉仕団体、行政等との連携を深めた奉仕事業に挑戦する

16

優先事項4「適応力を高める」の目標

1. より大きな協力と運営効率を促進するための革新的なアプローチを試行することにより、地域の適応力を支える。
2. ロータリーのリーダーシップとガバナンスにおいて、多様性、公平さ、インクルージョンを支援する。

地区の優先事項

- DEI+B及び4つのテストと中核的価値観を各リーダーに周知させて、会員ひとりひとりにも理解を促す
- DEIの行動規範を徹底する
- 変革から進化への必要性を会員に理解させる
- 新しいパートナーシップとの事業を考える

17

2024-25 年度 地区数値目標

- 1 会員数 純増 100名
- 2 新クラブを4つ設立
- 3 ロータリー財団寄付
 - 年次基金 会員1名 200ドル以上
 - ポリオプラス基金 会員1名 50ドル以上
 - 恒久基金 ベネファクター100名クラブは2名
 - PPS PHF 各クラブ1名以上
- 4 米山記念奨学会寄付 会員1名 25,000円以上

ガバナー公式訪問

2024年 9月 12日(木)

地区部門セミナー

日程	曜日	部門名	会場	開始時間
7月15日	月	管理部門	ソニックシティー	13時30分～
		公共イメージ部門		
		会員増強維持部門		
7月19日	金	職業奉仕部門	ソニックシティー	13時00分～
		社会奉仕部門		
8月10日	土	米山記念奨学部門	ソニックシティー	13時30分～
8月17日	金	青少年奉仕部門	フレンドピア	13時00分～
9月13日	金	ロータリー財団部門	ソニックシティー	14時00分～
		国際奉仕部門		

ロータリー特別月間

- 7月 母子と健康月間
- 8月 会員増強・新クラブ結成推進月間
- 9月 基本的教育識字率向上月間/ロータリーの友
- 10月 地域社会の経済発展月間/米山月間
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和と紛争予防と紛争解決月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 環境月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間

希望を語りクラブの未来を創る

私たち浦和東ロータリークラブは1972年4月9日の設立総会から創立55周年を迎えます。そして新たな一步を未来に向かって踏み出します。大きく変わる世界にロータリークラブも変化を求められ、私たちも取り残されることなく変化していかなければなりません。

ステファニーA. アーチックRI会長はドミニカ共和国での浄水器を設置する奉仕活動の際に、蛇口から水が流れたことが子ども達にとってはマジックだと感激したことに触れ、RIテーマを「ロータリーのマジック」としました。しかし魔法の呪文をとこなえることだけでは世界を変えられない、様々な小さな奉仕活動が行われることで世界が変わると言っています。

私たちもクラブの戦略計画と優先項目をもって、奉仕活動に取り組みどんな奉仕活動でも地域を変える一步であり、世界を変えられる大きな一步として行動しましょう。

私たちは多くの希望を語り持続可能なクラブの未来を創りましょう。

浦和東ロータリークラブの戦略計画

【クラブのビジョン声明】

私たちは、手を取り合って、優れた「100 Member Club」を目指します
思いやりと真理のロータリアンは、美しい利他の心を磨き実践します

【クラブの優先項目】

- 1 「100 Member Club」を目指します
- 2 地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動の調査と実施
- 3 リーダーの育成

常任委員会及び委員会の任務と目標

常任委員会と委員会はクラブの戦略計画に沿った次年度目標を立案し、実現に向けた行動計画を立て実践すること。各奉仕プロジェクトの持続可能な良い変化を生むため測定可能な状況を確保する。またロータリークラブ活動の哲学的及び実地的な基準である、ロータリーの五大奉仕部門に沿うこと。国際ロータリーの特別月間を推進する。

■ ■ ■ クラブ管理運営常任委員会 大場 守 常任委員長

クラブ管理運営に関する活動を各委員会で分担し実施してください。常委員長はロータリーの五大奉仕のうちのクラブ奉仕を念頭にクラブの機能を充実させるため各委員会の活動を調整し掌握してください。

■ 出席委員会 森 道子 委員長

ロータリアンの義務である例会への出席と各行事への出席を奨励し、出席率を高めるとともに全会員の年間出席状況を管理してください。

- ・出席率90%に向けた取り組みの実施
- ・メーカーツアールの実施
- ・事前出欠確認及び出席促進（特に欠席者の連絡方法の確立）
- ・例会での出席率の発表
- ・永年在籍表彰及び慶事のお祝い

■ 親睦活動委員会 中村 国雄 委員長

会員相互の信頼と思いやりの心を醸成し、奉仕活動の活力となる諸行事を委員会メンバーと力を合わせて計画立案し、参加したくなる親睦事業を実施してください。

- ・移動夜間例会・クリスマス例会・会員旅行の実施
- ・会員配偶者への誕生日プレゼントの実施
- ・ソングリーダーと例会ソングの選定（クラブ歌1～4の紹介）
- ・新会員の紹介を含む例会事業への積極的な参加を促してください

■ 会報委員会 池田 秀弘 委員長

毎回の例会状況の記録及び、情報を週報として発行する。また、クラブの事業活動等の保存資料の収集と整理をしてください。

- ・新事務局のクラブ広報資料のデータ化

■ プログラム委員会 北 清太郎 委員長

会員が例会に魅力を感じ毎回例会に参加したくなるプログラムを企画立案してください。

- ・会員に興味を持ってもらえる卓話の企画
- ・ロータリー月間の情報をバランス良く提供
- ・テーブル会や新会員歓迎会を例会として提案

■ ラーニング委員会（旧研修委員会） 小柳 嘉文 委員長

会員にロータリーに関する知識や情報を発信し、正しく理解して貰うための機会を定期的に行ってください。

- ・クラブビジョン声明を啓発するようラーニングを実施
- ・新会員の入会オリエンテーションの実施（資料の刷新）
- ・地区R L I への会員の積極的な参加促進
- ・ロータリーの歴史や情報を入会年数に応じたプログラムの作成

■ 保健委員会 荻原 眞一 委員長

会員の健康増進と生活習慣病対策のための講話と年1回の健康診断を実施してください。

- ・充実したロータリーライフを送るために健康情報を提供

■ ■ ■ 会員増強常任委員会 早坂 直喜 常任委員長

クラブのビジョン声明に掲げた優れた100Member CLUBの実現のためリーダーシップを担い会員増強を行ってください。

■ 会員増強・維持委員会（職業分類・会員選考） 高岡 直秀 委員長

クラブビジョンの推進を共有し、地域の幅広い分野を考慮し職業別や年齢構成を注視して会員増強をしてください。また欠席の多い会員に対し意思の疎通を図り退会防止に努めてください。

- ・クラブの行動計画を遵守し次年度へ会員数103名以上で引き継ぐ
- ・会員増強に関する情報交換（委員会）を毎月行う
- ・新会員歓迎会の開催
- ・新会員のカウンセラーを選任し入会後のフォローアップを行う
- ・新会員のクラブへの積極的な参加促進
- ・会員維持にも努め退会防止を計る

■■■公共イメージ常任委員会 杉本 浩一 常任委員長

ロータリーの活動情報を対外に広め、ロータリーのプログラムへの理解度を高めるよう努めてください。常任委員長は各委員会の活動を調整し掌握してください。

■公共イメージ向上委員会 清宮 大輔 委員長

ロータリークラブのプロジェクトや活動をロータリアン以外の人々に広く知ってもらうためHPの更新やSNSを使用し情報発信を行ってください。

- ・メールマガジンの配信と配信先の管理
- ・会員専用WEBサイトの運営（スケジュールボードなど）
- ・マイロータリーへの登録
- ・会員のICT活用への推進

■雑誌委員会 岡安 美穂 委員長

ロータリーの機関紙「ロータリーの友」の購読と記事の投稿を促進してください。

- ・例会で毎月「ロータリーの友」の概要を紹介
- ・過去のクラブの投稿を調査しアーカイブとしてHPへ掲載

■■■奉仕プロジェクト常任委員会 市ヶ谷 昌彦 常任委員長

地域社会並びに海外の地域社会への奉仕活動のニーズに応じた独自のプログラムを開発し実施してください。常任委員長は各委員会の活動を調整し掌握してください。

■ 職業奉仕委員会 八百 武史 委員長

ロータリーの目的の第2を基盤とし、ロータリーの理念に従って事業を行ってください。職業上のスキルを社会のニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに貢献するよう会員に奨励してください。

- ・例会の卓話で会員の職業を知る機会を設ける
- ・他業種の職業を知るために見学会の実施

■ 社会奉仕委員会 春日 隆 委員長

地域社会のニーズに応じた奉仕活動を調査研究し、地域社会にインパクトをもたらすようなプロジェクトを実施してください。常に測定可能な状態を維持し、プロジェクトの評価を明確にしてください。

- ・特別委員会や周年実行委員会と連携を取り事業を推進
- ・ロータリーの目的、四つのテストの唱和の実施
- ・埼玉県SDGsパートナーへの取り組み
- ・地区社会奉仕部門との連携

■ 国際奉仕委員会 長田 健太郎 委員長

他国の人びとを助けることを目的としたプロジェクトを実施することによって国際理解、親善、平和を推進してください。グローバル補助金、地区補助金の有効活用を研究し実践してください。

- ・クラブの過去の国際奉仕活動の調査研究

■ 国際交流委員会 白井 智子 委員長

R I 国際大会をはじめ、各国で開催される会合への参加を奨励し、海外クラブやロータリアンとの交流を促進してください。

- ・R I カルガリー国際大会（6月21日～25日）
- ・トーランス・デルアモRC100周年の参加促進（10月12日）
- ・姉妹クラブとの協議会について

■ 友好クラブ委員会 平田 利雄 委員長

金沢西ロータリークラブとの友好クラブ締結に関する状況を維持管理し、友好クラブとの交流の在り方について研究してください。

- ・金沢西ロータリークラブ60周年の参加促進（9月27日）

- ・金沢西ロータリークラブとの友好クラブ締結について
- ・相互訪問の実施と情報交換の継続

■ ■ ■ 青少年常任委員会 松岡 耕一 常任委員長

ロータリーが提供するプログラムを通じて、青少年や若者にとって好ましい変化がもたらされることの認識を深めてください。R I や地区が定める危機管理条項に沿って運営してください。

■ 青少年交換委員会 佐藤 徳典 委員長

地区の青少年交換プログラムに参加し、高校生が国際理解と親善を深める為、1年間の海外留学を支援するとともに、来日留学生の受け入れホストクラブとして双方をサポートしてください。

- ・青少年交換プログラムの理解促進
- ・カウンセラーと連携を取り交換留学生のフォロー
- ・受け入れホストファミリーの充実

■ 青少年育成委員会（ライラ・インターアクト・ローターアクト） 松本 英人 委員長

地区のインターアクトプログラムに参加し、さいたま市立浦和高等学校インターアクト部を学校と顧問教師の協力のもとに積極的に支援してください。地区のライラ研修プログラムとローターアクトクラブの活動をクラブに周知してください。

- ・第29回フットサル大会の開催
- ・さいたま市立浦和高校インターアクトクラブの支援
- ・インターアクトクラブの奉仕活動への参加促進

■ ■ ■ ロータリー財団常任委員会 戸崎 洋 常任委員長

1917年アーチ・クランフ氏が世界で良いことをするための基金を作る構想を発表して以来、現在世界の慈善団体を評価する屈指の機関から14年連続トップスリーに位置づけられています。ロータリー財団のこれまでの歴史背景とプログラムを会員に周知してください。

■ ロータリー財団委員会（ポリオプラス） 志村 廣幸 委員長

ポリオ根絶活動、ロータリー平和センター、ロータリーの補助金システム、7つの重点分野、寄付金の種類などを会員に周知して、プログラムに積極的に参加すると共に資金寄付などで支援してください。

- ・会員1人年次寄付200ドル以上・ポリオ基金の寄付50ドル以上
 - ・財団恒久寄金（ベネファクター）2人の達成（50名以上のため）
 - ・世界ポリオデーに合わせポリオ根絶募金の実施
 - ・ロータリー財団の理解を深めるための卓話の実施
 - ・ポリオプラスソサエティ（PPS・年100ドル）の推奨
 - ・ポールハリスソサエティ（PHS・年1000ドル）の推奨
- ※浦和東ロータリークラブは現在PHS3名

■■■米山記念奨学常任委員会 宇津城 美奈子 常任委員長

日本で学ぶ外国人留学生に対し、ロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給する民間の奨学金では国内最大規模の公益認定財団であることを会員に周知してください。

■米山記念奨学委員会 栗原 啓太 委員長

米山記念奨学会設立の趣旨や歴史、プログラム、世話クラブとカウンセラー制度などについて会員に周知を図り、寄付金の増進を推進してください。奨学生の世話クラブとして積極的に参加してください。

- ・奨学会への寄付会員1人当たり25,000円
- ・奨学生の例会での役割を設定
- ・カウンセラーと共に緊密に連絡を取り奨学生の有意義な学生生活のバックアップと例会事業への参加促進

■■■創立55周年実行委員会 三上 憲治 実行委員長

クラブ創設から55年の歴史ある奉仕活動の検証と周年行事のあり方についての答申に沿って、クラブの未来に向けた周年事業を実施してください。

- ・周年記念事業の実施
- ・過去の記念碑や奉仕活動で寄贈した物品の確認と補修事業
- ・55周年を祝する式典と祝宴の実施
- ・姉妹クラブ・友好クラブの再調印について

■■■地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動特別委員会

町田 哲雄 特別委員長

クラブビジョンの推進を共有し、クラブの優先項目に関する行動計画に准じて、継続してよりインパクトをもたらす奉仕活動の調査と実施をしてください。

- ・年度を跨いだ事業の継続
- ・周年実行委員会と連携した（仮称）見沼未来子どもサミットの実施

■■■戦略計画委員会 齋藤 茂 委員長

クラブの近未来像を調査研究しクラブ運営に継続的に必要とする事項を立案し理事会に提言してください。

- ・3年間の目標と計画の項目の確認

■■■会計 菅原 卓 委員長

クラブのすべての資金を管理し、会費の徴収状況を掌握してください。R I・地区分担金を納入してください。

- ・適正かつ円滑な運営に努めクラブの健全な財政の維持
- ・クラブからの支払いはロータリーカードを使用する
- ・例会場での現金受領の軽減の検討

■■■S A A 大山恭子 S A A

クラブの会合が秩序正しく運営されるよう努めてください。

- ・会員がまんべんなく会話が弾むような席替えの実施
- ・新会員がクラブに溶け込みやすい席替えの実施
- ・年2回のテーブル会の開催
- ・ニコニコ発表で会員の柔和な気持ちを醸成してください
- ・親睦委員会と連携したビジターの対応

●● 各委員会共通事項 ●●

55周年実行委員会との事業連携と委員会の出席率向上を目指してください。委員会運営や事業に必要なマニュアルを作成してください。前年度から引き継がれた資料の改修と発展をお願いします。

浦和東ロータリークラブ 2024年～25年度

役員及び理事

役員

会長 漆原 誠
 直前会長 大谷部 雅典
 次年度会長 岡村 一巳
 副会長 森嶋 修
 幹事 佐伯 陽子
 会計 菅原 卓
 S A A 大山 恭子

監査 石坂 健一

副幹事 飯塚 孝志
 " 三井 由美子

副 S A A 仲川 厚子
 " 嶋田 雅史

理事会構成員

会長 漆原 誠
 直前会長 大谷部 雅典
 次年度会長 岡村 一巳
 副会長 森嶋 修
 幹事 佐伯 陽子
 会計 菅原 卓
 S A A 大山 恭子
 クラブ管理運営常任委員会委員長 大場 守
 公共イメージ常任委員会委員長 杉本 浩一
 会員増強常任委員会委員長 早坂 直喜
 奉仕プロジェクト常任委員会委員長 市ヶ谷 昌彦
 青少年常任委員会委員長 松岡 耕一
 ロータリー財団常任委員会委員長 戸崎 洋
 米山記念奨学常任委員会委員長 宇津城 美奈子
 プログラム委員会委員長 北 清太郎
 55周年実行委員会委員長 三上 憲治
 地域社会特別委員会特別委員長 町田 哲雄
 友好クラブ委員会委員長 平田 利雄
 理事 北 清治
 理事 松村 繁

委員会構成（2024～2025年度）

委 員 会	委 員 長	副委員長	委 員
クラブ管理運営常任委員会	常任委員長 大場 守		
出席委員会	森 道子	小久保岳彦	犬飼勝・高橋清斗・市ヶ谷昌彦・栗原啓太・菅間一仁
親睦活動委員会	中村 国雄	宇野 三花	糠谷誠志・佐藤尚人・菅原 卓・北野大輔・長田健太郎 土屋聡史・木谷裕司・岡安美穂・嶋田雅史・田中豊太 伊藤展康・大澤 徹・高澤彰
会報委員会	池田 秀弘	大澤 徹	鈴木豊・平井文人・小林和章・宇津城美奈子・仲川厚子
プログラム委員会	北 清太郎	北島 篤史	町田哲雄・木本和伸・松岡耕一・松本英人・伊藤展康
※ラーニング委員会	小柳 嘉文	木谷 裕司	糠谷誠志・松村繁・小久保岳彦・飯塚道夫・満山隆志
保健委員会	荻原 眞一	小美野 聡	野口實・大野直和・八百武史・池田真美・金田恵
会員増強常任委員会	常任委員長 早坂 直喜		
会員増強・維持委員会 (職業分類・会員選考)	高岡 直秀	高澤 彰	小山福松・北清治・平田利雄・岡村一巳・大山恭子 小美野聡・春日隆・仲川厚子・志村廣幸・杉本浩一
公共イメージ常任委員会	常任委員長 杉本 浩一		
公共イメージ向上委員会	清宮 大輔	佐藤 尚人	澤野伸司・戸崎洋・白井智子・志村廣幸・木谷裕司
雑誌委員会	岡安 美穂	土屋 聡史	松岡晋・野口功・高木貴弘・宇野三花・田中豊太
奉仕プロジェクト常任委員会	常任委員長 市ヶ谷昌彦		
職業奉仕委員会	八百 武史	満山 隆志	榎本秀雄・高野博明・土屋貴光・中館達司・高澤彰
社会奉仕委員会	春日 隆	北野 大輔	鈴木甫・富岡重孝・杉本浩一・佐藤徳典・三井由美子
国際奉仕委員会	長田健太郎	高橋 清斗	武藤茂・石坂健一・時友正孝・木本和伸・平野信夫
国際交流委員会	白井 智子	伊藤 展康	齋藤茂・横田安民・菅間一仁・金田恵・根本貴祥
友好クラブ委員会	平田 利雄	長田 朱美	國光勝三・吉村雅男・小池洋士・興石由美子・菅原卓
青少年常任委員会	常任委員長 松岡 耕一		
青少年交換委員会	佐藤 徳典	大野 直和	稲垣博正・大谷部雅典・佐野敏樹・北清太郎・大場守
青少年育成委員会 (ライラ・インターアクト・ローターアクト)	松本 英人	嶋田 雅史	三上憲治・佐藤正行・高木貴弘・海田英彦・小柳嘉文 平井文人・池田秀弘・大山恭子
ローター財団常任委員会	常任委員長 戸崎 洋		
ローター財団委員会 (ポリオプラス)	志村 廣幸	菅間 一仁	森嶋修・白井智子・中村国雄・北島篤史・氏家健司
米山記念奨学常任委員会	常任委員長 宇津城美奈子		
米山記念奨学委員会	栗原 啓太	興石由美子	利根澤正之・野口實・小林千洋・森道子・荻原眞一
創立55周年実行委員会	三上 憲治	糠谷 誠志 北 清太郎	実行委員会組織を設置
地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動特別委員会	特別委員長 町田 哲雄	森嶋 修 杉本 浩一	土屋貴光・小久保岳彦・小柳嘉文・佐野敏樹・小池洋士 森道子・市ヶ谷昌彦・長田朱美・佐藤尚人・大山恭子 栗原啓太・志村廣幸・清宮大輔・春日隆・三井由美子 松本英人・仲川厚子・田中豊太・大澤徹
戦略計画委員会	齋藤 茂		小山福松・北清治・國光勝三
理 事(友好クラブ委員長)	平田 利雄		
理 事(プログラム委員長)	北 清太郎		
理 事	北 清治		
理 事	松村 繁		
会 計	菅原 卓	岸 生子	池田 真美
S A A	大山 恭子	仲川 厚子・嶋田 雅史	
副幹事	飯塚 孝志・三井由美子		
監 査	石坂 健一		

※ラーニング委員会とは前研修委員会。(RIの変更に基づき修正)

2024年3月7日現在

例会プログラム及び諸行事予定 2024年7月～

2024年カレンダー

	例会数	月 日	曜日	例会プログラム及びその他行事	事業・地区行事など
1	2596	7月4日	木	クラブ協議会 理事会	7/6 見沼たんぼ
2	2897	7月11日	木	クラブ協議会	7/15 地区セミナー管理
3	2598	7月18日	木	クラブ協議会	7/19地区セミナー奉仕
4	2599	7月25日	木	卓話 臨時総会	
5	2560	8月1日	木	卓話 理事会	8/9 インターアクト年次大会
6	2561	8月8日	木	卓話	8/10 地区セミナー米山
		8月15日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	8/17地区セミナー青少年
7	2562	8月22日	木	移動例会 移動例会(職業奉仕委員会・親睦活動委員会)	
8	2563	8月29日	木	卓話	
9	2564	9月5日	木	卓話 理事会	
10	2565	9月12日	木	公式訪問 ガバナー公式訪問	9/13 地区セミナー財団
		9月19日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
11	2566	9月26日	木	卓話	9/27 金沢西RC60周年
12	2567	10月3日	木	卓話 理事会	
13	2568	10月10日	木	卓話	10/12 トーランスデルアモ100周年
		10月17日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	10/19 見沼たんぼ
14	2569	10月24日	木	卓話	10/21 地区ゴルフ
15	2570	10月31日	木	卓話	10/26ポリオ募金
16	2571	11月7日	木	卓話 理事会	11/2 地区RLI
17	2572	11月14日	木	振替 地区大会に振り替え	11/16-17 地区大会
		11月21日	木	卓話	11/16 見沼たんぼ
18	2573	11月28日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
19	2574	12月5日	木	年次総会 理事会	
20	2575	12月12日	木	振替 12月8日(日)フットサル大会に振替	12/15 地区RLI
21	2576	12月19日	木	夜間例会 クリスマス例会	
		12月26日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	

例会プログラム及び諸行事予定 2025年1月～

2025年カレンダー

例会数	月 日	曜日	例会プログラム及びその他行事	
	1月2日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
22 2577	1月9日	木	新年例会 理事会	
23 2578	1月16日	木	卓話	1/18 地区RLI
24 2579	1月23日	木	卓話	
25 2580	1月30日	木	卓話	
26 2581	2月6日	木	卓話 理事会	(仮称) 見沼の未来子どもサミット
27 2582	2月13日	木	振替 IMに振り替え	IM 月 日
28 2583	2月20日	木	卓話	
29 2584	2月27日	木	卓話	
30 2585	3月6日	木	卓話 理事会	
31 2586	3月13日	木	卓話	
	3月20日	木	休会 春分の日 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
32 2587	3月27日	木	卓話	
33 2588	4月3日	木	卓話 理事会	
	4月10日	木	振替 周年式典に振替	55周年記念式典 4月12日(土)
34 2589	4月17日	木	卓話	
35 2590	4月24日	木	卓話	
	5月1日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
36 2591	5月8日	木	卓話 理事会	
37 2592	5月15日	木	振替 親睦旅行に振替	5/18～19 親睦旅行
38 2593	5月22日	木	卓話	
	5月29日	木	休会 (クラブ定款第7条1節d項適用)	
39 2594	6月5日	木	卓話 理事会	
40 2595	6月12日	木	クラブ協議会	6月21日～25日
41 2596	6月19日	木	クラブ協議会	6月21日 ガバナーナイト
42 2597	6月26日	木	夜間例会 (フライト変更の場合は副会長が代行)	カルガリー (カナダ)

【 上程スケジュール（上程書提出期限）について 】

■**原則 実施2か月前**の理事会上程です。

（例）8月事業は6月の理事会へ上程となります。

5月	6月	7月	8月
委員会で 内容検討	理事会上程	参加促進	事業実施日 8/〇日

■但し、下記の行事については、出欠確認、手配等に時間を要するため、できる限り、3ヶ月前の理事会への上程をお願いします。

- ① 移動例会（例 8月の移動例会の場合は5月の準備理事会に上程）
- ② クリスマス例会（9月の理事会に上程）
- ③ 親睦旅行（2月の理事会に上程）
- ④ 社会奉仕事業

■事業報告は原則実施した翌月の理事会に提出してください。

（月末開催の事業は翌々月）

■**提出期限 理事会開催日の前の週の日曜日まで**

提出は、1週間前の日曜日となります。

理事会資料を開催3日前までに、理事会構成員にメール送信しますの
で提出期限を厳守してください

日	月	火	水	木	金	土
提出日	議案 整理	→				
	資料 送信			理事会		

・作成者は各委員長、上程者は、常任委員長です

■委員長は、事務局に直接上程書送らないでください

■必ず常任委員長の確認の上、常任委員長が2か月（上記①から④の事業については3ヶ月）と1週間前の日曜日に上程書を事務局にあげてください。

※ 次年度準備理事会 5月30日（木）10時から

※ 議案提出期限は 5月19日（日）となります

事業計画書

親睦活動委員会

2024年3月28日起案

サンプル

クラブ管理常任委員会 常任委員長 大場 守

12月理事会 審議事項

親睦活動委員会 委員長 中村 国雄

【事業名称】	クリスマス家族例会
【目的】	クリスマス会を通じて会員と家族、また会員家族同士の交流と親睦を深め、つながりをさらに深めることを目的といたします。
【実施期間】	2024年12月19日（木曜日）
【事業対象】	会員と家族 ロータリーファミリー
【参加人数】	会員80名 家族60名 来賓10名 合計150名
【内容】	毎年恒例のクリスマス家族夜間例会を通じて、会員はもとより会員家族ロータリーファミリーとの交流、親睦を深めます。特に新会員のご家族に参加を呼びかけ、ロータリーの楽しさや素晴らしさを体感していただきます。 当日のお客様は、さいたま市長清水勇人名誉会員のご参加と、奉仕事業関係者8名、市立浦和高校5名、奨学生家族3名、交換学生関係3名とその他多くのお客様にご参加いただく予定です。 恒例のアトラクションとプレゼント抽選会の他、お楽しみ企画をご用意いたします。

【事業予算】

	項目	予算額	備考	
収入の部	委員会事業費	1,800,000		
	参加費	425,000	家族10,000×35名 小学生5,000×12	
	例会会場費・食事代	260,000		
	寄付金	70,000	10,000×7名	
	合計		2,555,000	
収入の部	項目	予算額	備考	
	飲食費・会場費	1,826,575		
	プレゼント代	250,000		
	芸人	143,000		
	その他経費	140,000		
	特別景品	70,000		
	予備費	125,425		
合計		2,555,000		
	差異	0		

資料NO.

2024-25年度 7月例会企画書

サンプル

管理運営部門部門委員長 大場 守
プログラム委員会委員長 北 清太郎

週数	例会回数	例会日	点鐘時間	場 所
第 1 週	第 2581回	3月7日木曜	12時30分	パインズホテル3階
卓話者	田中豊太会員・高澤彰会員・大澤徹会員 たなかとよた たかざわあきら			おおさわとおる
卓話内容	イニシエーションスピーチ			
紹介者備考	会員増強委員会 ・ プロジェクター			謝 礼
週数	例会回数	例会日	点鐘時間	場 所
第 2 週	第2852回	3月14日木曜	12時30分	パインズホテル3階
卓話者	NPO法人 子どもセンター・ピッピ 理事長 大倉浩 様			おおくらひろし
卓話内容	「子どもたちと共に生きる」			
紹介者備考	大谷部会長 ・ 浦和ダイヤモンドRC・弁護士			謝 礼 手土産5,000円相当
週数	例会回数	例会日	点鐘時間	場 所
第 3 週	第 2584回	3月21日木曜	12時30分	パインズホテル3階
卓話者	有限会社ワシヤプロモーション 代表取締役 鷺谷 透 様			わしやとおる
卓話内容	「思考は具現化する」			
紹介者備考	中館会員 ・ CD再生及びワイヤレスマイク(エコー)			謝 礼 20,000円
第 4 週	第 2583回 3月28日は3月23日(土)観桜会へ振り替え			
週数	例会回数	例会日	点鐘時間	場 所
第 5 週				
卓話者				
卓話内容				
紹介者備考				謝 礼

資料NO.

クリスマス例会事業報告書

サンプル

親睦活動委員会

1 実施日 2023年12月21日 (木)

2 事業報告

いくつかの問題もありましたが、無事に開催する事ができました。来場された方の笑顔が多く見られ、バブリン先生のシャボン玉やあんころもちのバルーンアート、そしてビンゴ大会等、大変雰囲気良く盛り上がったと思います。反省すべき点は、十分な下準備にも関わらず、1名の不足を出してしまいました。また、上座にするべき方の配席が間違っていました。また、高塩先生がご用意していた歌と週報が相違があり、皆様に混乱させてしまい、急遽、プロジェクターに映し対応としました。今後の課題としては、7名の寄付での従来の蘭ですが、1鉢13,000円近くになり、急遽フリージア等入れ7個の景品としましたが現状では難しいかと思えます。収支上、上程書に記載した人数よりも参加した会員の方が少ない事もあり予定よりも多く残りましたが、全般的にコストの上昇は否めないため、次年度は親睦の予算を増やすことも想定した方がよいと思えます。

出席人数 会員関係者122名(会員72名 会員配偶者・大人22名 中高生7名 小学生14名 幼稚園以下7名)
来賓・ゲスト 6名(大人6名)

参加合計人数 128名 (計画 140名)

3 収支決算報告

【収入の部】

科目	予算	決算	備考
委員会事業費	1,800,000	1,538,743	
会費 (会員配偶者等から)	415,000	385,000	別紙当日出席者請求
例会会場・食事代	260,000	260,000	
寄付金	70,000	70,000	
	0	0	
合計	2,545,000	2,253,743	

【支出の部】

科目	予算	決算	備考
ロイヤルパインズホテル	1,826,575	1,630,700	別紙のとおり
プレゼント代	300,000	284,940	ファミリーマート138,660、景品146,280
アトラクション	143,000	143,000	バブリン先生110,000、あんころもち33,000
その他雑費	140,000	125,103	看板41,800、卓上花59,400、印刷19,800、備品4,103
特別景品	70,000	70,000	蘭他、7名寄付者より、浦和植物園70,000
	0	0	
	0	0	
予備費	65,425		
委員会事業繰入金			
合計	2,545,000	2,253,743	

報告資料No. ②
a

会員専用サイトの運営を開始します

クラブ【公式】カレンダーの共有

- ・例会 ・事業 ・地区 ・事務局の委員会利用など資料の共有（ダウンロード）
- ・理事会資料 ・年度ごとの資料 ・各種資料



アクセスURL

<https://urawaehp.jimdofree.com/>

サイトはパスワードが必要です

パスワード 0409（創立記念日）



横田さん取りまとめをお願い致します

サンプル

次年度 公共イメージ常任委員会
委員会登録用紙 2024年4月13日

氏名		出欠	懇親会
1	常任委員長 杉本 浩一		
公共イメージ委員委員会			
2	委員長 清宮 大輔		
3	副委員長 佐藤 尚人		
4	委員 澤野 伸司		
5	委員 戸崎 洋		
6	委員 白井 智子		
7	委員 志村 廣幸		
8	委員 木谷 裕司		
9	委員		
10			
雑誌委員委員会			
1	委員長 岡安 美穂		
2	副委員長 土屋 聡史		
3	委員 松岡 晋		
4	委員 野口 功		
5	委員 高木 貴弘		
6	委員 宇野 三花		
7	委員 田中 豊太		
8	委員		
9	委員		
10			
	オブザーバー 漆原 誠		
	オブザーバー 佐伯 陽子		

2024

4

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 研修委員会	12	13 金沢西RC
14	15	16	17	18	19 地区セミナー	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

・ブルーの日は、委員会開催の候補日です

・赤字の日は、大きな会場を予約済みなので常任委員会の開催が可能です

	開催日	曜日	収容人数	パルコ会議室	委員会と開催日
4月	5	金	54	8+9	
	10	水	90	13	財団・米山 合同常任委員会(昼)
	12	金	90	13	
	15	月	90	13	公共イメージ常任委員会
	17	水	72	14	青少年常任委員会・会員増強常任
	18	木	39	6	
	22	月	72	14	クラブ管理運営常任
	23	火	72	14	
	25	木	90	13	奉仕プロジェクト常任委員会
	26	金	54	8+9	

Urawa East Rotary Club
SHIRAKABE BLDG. 2F
1-11-9 NAKA-CHO, URAWA, SAITAMA
SAITAMA, 330-0063 JAPAN
Phone +81-48-825-2228
E-mail : urawaras@green.ocn.ne.jp



浦和東ロータリークラブ
330-0063 埼玉県さいたま市浦和区仲町 1-11-9
白壁家 2階

電話 (048)-825-2228
FAX (048)-823-3001
E-mail : urawaras@green.ocn.ne.jp

2024年3月29日

浦和東ロータリークラブ会員各位

サンプル

浦和東ロータリークラブ
次年度公共イメージ常任委員会常任委員長 杉本 浩一
次年度公共イメージ向上委員会委員長 清宮 大輔
次年度雑誌委員会委員長 岡安 美穂

次年度公共イメージ常任委員会のお知らせ

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新年度に向けて下記の通り部門委員会を開催いたします。

新年度の委員会計画を検討し委員会活動を活発にしていまいりますので皆様のご意見をお聞かせください。

会員の皆様におかれましてはご多用のことと存じますがご参加をお願い致します。

記

【日時】 4月18日(木) 18時30分～20時(予定)

【場所】 コミュニティーセンター浦和 13集会室(パルコ10階)

【懇親会】 浦和はなの舞 浦和駅東口店 ファミリーマートB1
会費5,000円

出欠の返信は 4月11日(木)までをお願い致します

次年度公共イメージ部門委員会

お名前

委員会 出席する ・ 欠席する

懇親会 出席する ・ 欠席する

○を記入しご都合をお知らせください

FAX返信先 **048-823-3001** 事務局

2024年3月29日

サンプル

次年度公共イメージ向上委員会 次 第

(以下次年度省略)

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 常任委員長挨拶

公共イメージ常任委員会委員長 杉本 浩一

4. クラブテーマについて

会長 漆原 誠

5. 今後のスケジュール・その他連絡事項

幹事 佐伯 陽子

6. 各委員長挨拶

公共イメージ向上委員会委員長 清宮 大輔

雑誌委員会委員長

岡安 美穂

7. 各委員会協議

- ・委員会事業について
- ・委員会の役割について

8. その他

次回開催日時 2024年 月 日(木) 時 分

9. 閉会

浦和東ロータリークラブ
次年度 役員 理事 委員長 各位

浦和東ロータリークラブ
次年度会長 漆原 誠
次年度幹事 佐伯 陽子

年度計画書作成についてのお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、次年度国際ロータリー、地区運営方針も示され当クラブとしても、次年度のスタートに向けて準備を進めてまいります。

理事・役員の皆様をはじめ、委員長の皆様はクラブ戦略計画、ビジョン声明の内容を反映した次年度の事業をお考えいただき、各担当の事業計画書の作成をお願いいたします。

つきましては、理事・役員の皆様と担当委員長の皆様には、R I 方針・地区方針・会長方針を踏まえた上で、各委員会の事業計画を別紙にご記入いただき、下記の締切日までに原稿を提出下さいます様お願い申し上げます。

ご多用のこととは思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

提出期限 **4月17日(木)**までをお願いいたします

提出方法 役員・理事 事務局に直接提出

委員長 常任委員長に提出

常任委員長は各委員長の方針を確認し取り纏めて事務局へご提出をお願いいたします。

メールアドレス urawaras@green.ocn.ne.jp

年度計画書

【 ●●● 委員会】

委員長 ●● ●●
副委員長 ●● ●●
委員 ●● ●● ●● ●●
●● ●● ●● ●●
●● ●● ●● ●●

《方針》

200字程度

《計画》

- 1、
- 2、
- 3、
- 4、
- 5、

使用フォントガイドを参考に作成してください

委員会名 MSゴシック14P

役職 MSゴシック14P

氏名 MS明朝14P

方針 MS明朝12P 200字程度

計画 MS明朝12P

浦和東ロータリークラブ 2024-25地区役員・出向者

諮問委員	浦和東	北 清治
地域戦略計画委員会 アドバイザー	浦和東	北 清治

米山記念奨学部門委員長	幸手中央	小林 達郎
米山記念奨学増進委員長	鴻巣	小川 和義
米山記念奨学増進委員	浦和東	平田 利雄
米山記念奨学増進委員	浦和ダイヤモンド	南保 剛
米山記念奨学増進委員	杉戸	渡邊 克巳
米山記念奨学増進委員	松伏	富岡 快雄
米山記念奨学増進委員	松伏	若盛 圭恵
米山記念奨学増進委員	川口東	本多 賢太郎

米山記念奨学学友選考委員長	大宮南	小平 啓介
米山記念奨学学友選考委員	浦和東	佐野 敏樹
米山記念奨学学友選考委員	上尾西	田邊 利幸
米山記念奨学学友選考委員	大宮シティ	名取 俊行
米山記念奨学学友選考委員	鳩ヶ谷	村上 博康
米山記念奨学学友選考委員	蓮田	加藤 始

国際交流委員会 委員長	浦和東	白井 智子
国際交流委員	桶川イブニング	李 炳東
国際交流委員	大宮西	松本 有裕
国際交流委員	越谷	近藤 正成
国際交流委員	越谷南	仁多見 廣和
国際交流委員	三郷	今野 正文

地域社会奉仕委員会 委員長	浦和東	三井 由美子
地域社会奉仕・ブライダル委員	蓮田	栗原 均
地域社会奉仕・ブライダル委員	浦和	佐藤 亮
地域社会奉仕・ブライダル委員	大宮シティ	橋本 裕司
地域社会奉仕・ブライダル委員	川口モーニング	平尾 博紀
地域社会奉仕・ブライダル委員	戸田	星 宏和

ポリオ・プラス委員長	さいたま櫛	荒蒔 良和
ポリオ・プラス委員	浦和東	清宮 大輔
ポリオ・プラス委員	上尾西	郡司 貴江
ポリオ・プラス委員	越谷北	近藤 慎悟

資金管理委員長	上尾	藤村 作
資金管理委員長	川口	白井 靖
資金推進委員	浦和東	長田 健太郎
資金推進委員	浦和北	菅谷 義治
資金管理委員	上尾	斎藤 修弘

地区等対外的クラブの担当者

米山記念奨学生カウンセラー	宇津城 美奈子
青少年交換留学生カウンセラー	仲川 厚子
第1グループIM副実行委員長	大山 恭子

浦和東ロータリークラブの皆様へ

ロータリークラブカード作成のご協力をお願い致します

毎日のお買い物や公共料金のお支払いで、ロータリー財団活動に貢献できます。カードショッピングご利用金額の0.3%が、ロータリー財団に寄付されます。

永久年会費無料



●スマートフォンから申し込みいただけます

Web入会はこちら



年会費 11,000 円



Web入会はこちら



地区コード 2770 クラブコード 14032

スタンダードカード お申し込みページ



地区コードとクラブコードをご入力ください。

地区コード	2770	(例) 0000 数字4桁
クラブコード	14032	(例) 00000 数字5桁

※ご不明の場合は下記のリストをご参照ください。※半角文字で入力してください。

オンラインでお申し込み

浦和東ロータリークラブの戦略計画

2020年8月6日策定

「クラブのビジョン声明」

私たちは、手を取り合って、
優れた「100 Member Club」を目指します。
思いやりと真理のロータリアンは、
美しい利他の心を磨き実践します。

「クラブの優先項目」

- 1・「100 Member Club」を目指します。
- 2・地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動の調査と実施。
- 3・リーダーの育成。

RI2017年6月策定

「ロータリーのビジョン声明」(国際ロータリー)

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、
持続可能な良い変化を生むために、
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。



RI テーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」(Rotary Opens Opportunities)

2020-21年度 RI会長 ホルガー・クナーク (ドイツ)

地区テーマ 「新たな機会へのチャレンジで、クラブに活力を！」

2020-21年度 第2770地区 ガバナー 中里 公造 (川口モーニング)

クラブテーマ「新たな一歩の扉を開く」

2020-21年度 浦和東ロータリークラブ会長 野口 實

浦和東ロータリークラブ戦略計画委員会

「ビジョン声明と優先項目を支える行動計画指針」

私たち浦和東ロータリークラブは、2020年4月9日創立50周年を迎えると共に、次なる世代に向けて新しい一歩を歩み出しました。力強い未来を築くために持続可能なクラブの方向性と価値観を共有する必要があります。

毎年新しいリーダーが経験を積み、活動に取り組みながら、組織としての戦略的行動計画を協力とコミュニケーションで継続的に推進し、適宜測定可能にすることによって、目的意識が高まりクラブの活性化につながります。

私たちは、地域社会に大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めて革新的になることを目指しています。行動計画を実行するにあたり、大胆かつ野心的でありたいと考えております。

戦略的ビジョンと優先項目を支える年次目標の実践的かつ具体的な委員会活動の行動計画立案をお願いします。本計画は5ヶ年を目途としておりますが、3ヶ年を一時的評価点とします。

「クラブのビジョン声明」

私たちは、手を取り合って、
優れた「100 Member Club」を目指します。
思いやりと真理のロータリアンは、
美しい利他の心を磨き実践します。

「クラブの優先項目」

- 1・「100 Member Club」を目指します。
- 2・地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動の調査と実施。
- 3・リーダーの育成。

「クラブの行動計画指針」

優先項目1「より大きなインパクトをもたらす」

- ・地域社会のニーズに沿った奉仕活動を実践し、力強いストーリーを伝えていきます。

優先項目2「参加者の基盤を広げる」

- ・地域社会のあらゆる種類のリーダーとつながりを築き、一緒に活動ができるようにします。

優先項目3「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・参加者のニーズや期待、成長を活動の中心に据えていきます。

優先項目4「適応力を高める」

- ・革新的なアイデアを取り入れ、多くの人がリーダーシップを担える環境をつくり、新しい意見を取り入れ、運営方法を簡素化していきます。

戦略計画委員会と戦略計画推進会議の任務

戦略計画委員会

- 1・委員会は、クラブの近未来像を調査研究し、クラブ運営に継続的に必要とする事項を立案し、理事会に提案すること。
- 2・毎年度、推進会議からの改善提案を反映した修正を行い、理事会に諮ること。
- 3・推進会議や各委員会の求めに応じて、説明や助言を行う。
- 4・委員会構成は、ガバナー補佐経験者と会長・会長エレクト・会長ノミニーとする。
- 5・委員の任期、ガバナー補佐経験者は3年とし留任を妨げない。会長・会長エレクト・会長ノミニーは役職をもってその任にあたる。
- 6・その他疑義については、クラブ細則第8条・第1節（1）に記載されている通り理事会承認事項です。

戦略計画推進会議

- 1・推進会議は、クラブのビジョン声明と優先項目を年度計画書に積極的に反映させること。そして、実践評価した内容に継続性を持たせること。
- 2・推進会議は、実践に伴った改善計画案を戦略計画委員会に提案すること。
- 3・委員会構成は、毎年度会長・幹事/直前会長・幹事/会長エレクト・幹事/会長ノミニー/会長エレクトが任命した若干名。
- 4・会長エレクトは、クラブ運営に継続性を持たせるため、第1回会議を2月末までに開催すること。
- 5・推進会議は、必要に応じて随時開催することが出来る。
- 6・推進会議は、クラブ運営において測定可能な状況を具体的に確認すること。

クラブの優先項目に関する行動計画

クラブの優先項目 1. 「100 Member Club」を目指します

	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	2025-26	適用
会長	野口 寛	佐野 敏樹			(55周年)		
年初会員数	93	95	97	99	101	100+α	
入退会者数	7-5	7-5	7-5	7-5	7-5		実績による予測
年度末数	95	97	99	101	103		会員維持の検討

- ・各年度会長は、目標数を必ず達成すること。
- ・前倒しで達成されても、年度の数字は必ず達成し最終目標を早く実現すること。
- ・会員増強は、7部門で各1名以上を担当する。

Rotary 

クラブの優先項目 2. 地域社会にインパクトをもたらす奉仕活動の調査と実施

	2020 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021 1月	2月	3月	4月	5月	6月
資料 収集	社会のニーズ											
勉強 会	詳細計画検討											
市場 調査	外部調査協力会											
アン ケート	実態調査											
分析 結論	提案書の作成											
	プロジェクト実施準備→											

Rotary 

クラブの優先項目 3. リーダーの育成

	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	適用
会長名	野口 寛	佐野 敏樹			55周年度	
	三ヶ年計画					
研修目標	内容や対象者の検討					
1年度	_____					
2年度	_____					
3年度	_____					

Rotary 

「ロータリーの戦略計画」（国際ロータリー）

ロータリーの戦略計画は、過去を称え、未来を見据えるものです。この戦略計画によって、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。

ロータリーが創設されて以来、世界は変化し続けています。人口動態が変わり、変化のスピードは加速しています。テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。

しかし、不変なのは、ロータリーを定義づける中核的価値観“親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ”に対するニーズです。

「ロータリーのビジョン声明」

RI2017年6月策定

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、
持続可能な良い変化を生むために、
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

「ロータリーの戦略的優先項目と目的」

「優先項目」

2019年7月1日スタート

- 優先項目1 「より大きなインパクトをもたらす」
- 優先項目2 「参加者の基盤を広げる」
- 優先項目3 「参加者の積極的なかわりを促す」
- 優先項目4 「適応力を高める」

「目的」

優先項目1 「より大きなインパクトをもたらす」

- (1)・ポリオを根絶し、残された資産を活用する。
- (2)・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- (3)・活動成果を挙げて、それを測る能力を高める。

優先項目2 「参加者の基盤を広げる」

- (1)・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。

- (2)・ロータリーへの新しい経路を創り出す。
- (3)・ロータリーの解放性とアピール力を高める。
- (4)・活動成果とブランドに対する認知を築く。

優先項目3「参加者の積極的なかかわりを促す」

- (1)・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- (2)・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する。
- (3)・個人的/職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する。
- (4)・リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する。

優先項目4「適応力を高める」

- (1)・研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意志を奨励する文化を築く。
- (2)・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- (3)・意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す。

「行動計画指針」

優先項目1「より大きなインパクトをもたらす」

手を取り合って、これからも世界に対するロータリーのインパクトを実証していきましょう。

優先項目2「参加者の基盤を広げる」

手を取り合って、目標を共有する人たちが一緒に活動できるようつながりと機会をつくり出しましょう。

優先項目3「参加者の積極的なかかわりを促す」

手を取り合って、参加者のニーズ、期待、成長を活動の中心に据えることを再び誓いましょう。

優先項目4「適応力を高める」

手を取り合って、自己に忠実でありつつ、今後115年間も変化の先を行きましょう。

国際ロータリー第 2770 地区の戦略計画

地区として、ロータリーのビジョン声明を達成するために、次の四つの項目に沿って活動していきます。

「より大きなインパクトをもたらす」

地区やクラブは、現状の活動を評価し、社会のニーズに見合った効果的で持続可能な活動を実施していきます。

目的①ポリオ根絶進捗状況の開示と、ポリオのストーリーを広く浸透させ、クラブの理解と協力を要請し、具体的な寄付の協力(寄付者率ゼロ)につなげます。

②「世界を変える行動人」キャンペーンの推進と、RI テーマ、中核的価値観の認識を深めます。

③地区補助金は、地域社会への活用と同時に、グローバル補助金による、より広い世界に持続可能で測定可能、かつ大きなインパクトのある活動を増やします。

「参加者の基盤を広げる」

多くの人びとや組織が、参加できる機会を創出します。そして多くの参加者をロータリーに迎え入れることにより、組織を拡大します。

目的①退会防止と会員維持、そして会員増強（特に女性会員や 40 歳以下の会員）により、会員基盤を盤石なものにします。

②志を同じくする他団体や組織とのつながりを模索します。

③ローターアクトクラブの拡大と、ローターアクターとの関りを強化します。

④メディアの積極的な活用と連携を深めます。

「参加者の積極的なかかわりを促す」

参加者が個人として職業人としてのつながりからロータリーに関わり、活動に参加する中から達成感や満足感、充実感をロータリーから得られれば、更なる活動に全力を注いでくれるようになります。

目的①クラブセントラルの活用により、定期的にクラブ評価を進めます。

②クラブで決定した活動に、全会員が積極的に参加するよう促します。

③人とのつながり、職業上でのつながりを促し、ロータリアン以外の人びとや組織と共に感動を共有できるようにします。

④リーダーシップの育成と、次世代のリーダーの養成をクラブに勧めます。

「適応力を高める」

世界の変化に適応した新しいニーズに、柔軟かつ多様性に富む、効果的な運営を支援していきます。

目的①奉仕活動が新しいニーズに見合うよう、地区やクラブの組織構成を改善していきます。

②地区内グループの構成会員数の見直しを検討していきます。

③より大きなインパクトをもたらすために、グローバル補助金の活用を加速させます。

④地域社会のみならず、国際社会への支援を積極的に促します。